



第44卷 第2号

史学・地理学・考古学

- 近世畿内農業と牛流通（上）……………酒 井 一（1）
 ——河内駒ヶ谷市を中心に——
- いわゆる「日本型賃金体系」および
 「日本型労働組合」の端緒的成立……………佐々木 隆 爾（36）
 ——第一次大戦後における八時間労働日制の実現をめぐって——
- 西魏時代の敦煌計帳戸籍に関する二・三の問題…西 村 元 佑（81）
- ピーコックの立場（下）……………松 浦 道 一（108）
 ——十五世紀中葉における宗教論争について——

研究ノート

- 東国出身の防人達……………曾我部 静 雄（129）

書 評

- 門脇禎二著：日本古代共同体の研究……………塩 沢 君 夫（139）
- J. Keith Horsefield: British Monetary
 Experiments 1650-1710……………合 田 裕 作（145）
- 藤岡謙二郎著：都市と交通路の歴史地理学的研究……………谷 岡 武 雄（148）

紹 介

- 彦根市史 上册 本宮地方文化史図説 後漢書語彙集成 上

会 告

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会

ド研究のたのしみを語ったのち、一枚の紙片を評者に示された。そこに記された内容は、正確には記憶していないが、ほぼ本書の復案に当るようなものであつたと思う。ロンドン大学の雰囲気やイギリスにおける教授のフィールドワークは、大いに執筆意欲を刺戟したものであろう。帰国後、教授は従来の諸研究を整理し、さらに新しい調査結果をつけ加え、それらに一本の筋金を通された。かくして誕生したのが本書である。著者は帰国後人がかわつたのではないかと、よく噂されている。従来 of 忙しいそう な立居振舞いが忘れられ、静かにアームチェアに腰かけて、瞑想にふけておられる教授の姿を、みかける機会がしばしばである。はしがきに述べられてあることは、「地理学徒の幸福は、……地域にとりかこまれたアトモスフェアの感覚を科学的操作によつて、心行くばかりにわが身につけていることだと思つている」には、著者の最近における心境が洩らされているもののように思われる。本書のもつ高い研究史上の価値はいうまでもないが、この味わうべきことばこそ、わたくしがこの良書にひきつけられて、短評の筆をとつた大きい理由である。(A5判 二二五頁 図版七一葉 昭和三五年六月 大明堂刊 四二〇円)

執筆者紹介

- | | |
|--------|-----------|
| 酒井 一 | 京都大学大学院学生 |
| 佐々木隆爾 | 京都大学大学院学生 |
| 西村 元佑 | 京都大学大学院学生 |
| 松浦 道一 | 広島大学助教 |
| 曾我部 静雄 | 東北大学教授 |
| 塩沢 君夫 | 名古屋大学助教 |
| 合田 祐作 | 朱雀高校教諭 |
| 谷岡 武雄 | 立命館大学教授 |

協会一同の名において、善処されんことを要望するものである。

昭和三十六年一月二十一日

代表者 京都大学文学部教授

井上智勇

大阪歴史学会

大谷史学会

京都大学経済学会

京都大学国文学会

京都大学法学会

京都女子大学史学会

基督教研究会

史学研究会

人文地理学会

同志社大学経済学会

同志社大学商学会

同志社大学人文学会

同志社法学会

東洋史研究会

日本史研究会

日本西洋史学会

日本中国学会

仏教史学会

文化史学会

立命館大学人文学会

立命館大学日本文学会
龍谷史学会

龍谷大学国文学会

龍谷大学史学会

龍谷大学社会学会

龍谷大学真宗学会

龍谷大学仏教学会

日本學術會議會長

和達清夫 殿

III 編集後記 III

まずはじめに、大変おそくなりましたこと
をお詫びいたします。予定通りお手許にと委
員一同大いに気をもみましたが、何分にも印
刷所の事情でどうにもならずかくはおくれて
しまいました次第で、あしからずお許し下さ
いますよう。ところで印刷の事情と申します
と、御承知の方も多しと思いますが、諸物価
の上昇が反映して最近約二割強の値上りを
みております。加うるに別項のような郵税の
値上がり企図され、昭和三十六年度は、史
学研究会にとつて大きな危難の年となりそ
うです。もとより私どもとしましては全力を

けて克服の方途を見出す覚悟ですが、会員の
皆様も、事態をよく認識いただき、一層の御
協力をお願する次第です。

先号でもお知らせいたしましたとおり、本
誌の論文、研究ノート類の掲載は、日本史・東
洋史・西洋史・地理学・考古学の順、各学科内部
は時代・地域順とすることになっております。
なお、書評・紹介もこれに順じます。念のため、
もう一度申し添えます。(横山裕男)

一九六一年二月二五日印刷
一九六一年三月一日発行

史林 (第四四巻第二号)

定価一八〇円

発行所

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

史学研究会

理事 長 振替京都市一五五番
宮崎市定

編集主任 赤松俊秀

印刷所

京都市下京区西七条御所ノ内原町三九
中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLIV, No. 2 March, 1961

CONTENTS

Articles :

- Kinai* 畿内 Agriculture and Bull Distribution in the
Edo Era *H. Sakai* (1)
——the case of *Komagatani* 駒ヶ谷 Fair in *Kawachi* 河内——
- The Formation of the So-called 'Japanese Form of Wage'
and 'Japanese Form of Labor Union', *R. Sasaki* (36)
——excution of eight-hour labor day systm after
the First World war——
- Some Problems on the *Tunhuang Chi-Chung* and *Hu-ts'i*
敦煌計帳戸籍 in the *Hsi Wei* 西魏 Dynasty.....*G. Nishimura* (81)
- Peacock's Standpoint (II)*M. Matsuura* (108)
——religious controversy in the middle of the fifteenth century——

Note ;

- Border Defenders from the Eastern Countries..... *S. Sogabe* (129)

Book Reviews

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI
(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan